

第178回 月例薬学セミナー (平成19年度第7回)

演題: DNAを分子標的とした薬剤の設計

講師: 杉山弘 先生
京都大学大学院理学研究科 教授

日時: 平成19年10月16日(火) 15:00~16:30

場所: 小講堂

対象: 大学院生、学部生、教職員

要旨:

30億塩基対からなるDNA塩基配列の中には我々が生きていく上で必要な遺伝情報がすべて書き込まれている。がんはDNAの変異が原因であるので、がんの原因となっている特定の遺伝子の発現を人為的に制御することができれば、数百種類あるといわれている様々ながんそれぞれに対して効果を示すテーラーメイド抗がん剤を作り出せる可能性がある。これまでのゲノム創薬ほとんどが蛋白やmRNAを標的にしたものに限定されており、DNAに直接作用する設計はほとんど試みられていない。本発表ではゲノム創薬の新しい方向性を探る「DNAを分子標的とした薬剤の設計」についての検討について紹介したい。

創薬探索特論の履修者は必ず受講して下さい。

静岡県立大学大学院薬学研究科
創薬探索センター 浅井 章良
電話: 054-264-5231
E-mail: aasai@u-shizuoka-ken.ac.jp